

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和（ 元 ）年度 アプリ「瞬間日記」を使用した日記の宿題の作成（個別指導）
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 ■その他（宿題:日記）
	単元・題材名	
	授業の目標	・自分で長い文章の執筆ができるようになる。 ・文章中の漢字の使用の頻度が上がる。
	学力の3要素	<input type="checkbox"/> 「知識及び技能」 ■「思考力・判断力・表現力等」 ■「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	■通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 ■小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (6)年 (1)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 ■LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと ■書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 漢字を読むことは得意だが漢字を覚えるのが苦手。漢字を思い出すのに時間がかかるため、自分で書く文章は平仮名がほとんどである。学級で課されている日記の宿題について、大人とのやりとりで大人と一緒に日記を作っていた。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(■C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) 負担の大きい”書くこと”についてiPadでの音声入力を活用することで、負担を軽減し、学習に集中する。 自分でできる課題を増やし、学習への主体的な態度を養う。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	・ iPad ・ アプリ「瞬間日記」（キーボード入力や音声入力等を利用して、アプリ内に日記を執筆することができるアプリ、日記に画像の添付も可能） 
授業展開	授業展開・支援の手立て	家庭学習において、iPadのアプリ「瞬間日記」に日記を作成。 作成したページをプリントし、ノートに貼り付けて提出する。 
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	・ 自分一人のできる宿題が増えた。 ・ 自分で書く場合より、漢字の使用量、文章の量が増加した。